

令和8年9月
上下水道局

台南運河と琵琶湖疏水との交流促進及び協力に関する覚書の締結について

本市と台南市は、令和3年6月に、「交流推進協定」を締結し、今年で5周年を迎えます。台南市の台南運河は、大正15年（1926年）の建設から、水上運輸等により都市の発展に貢献し、現在は観光船等により都市の魅力向上に寄与しているなど、本市の琵琶湖疏水とも共通点を有しています。

今年、台南運河が建設から100周年を迎えるのを機に、台南市から、両市の交流と連携の一環として、琵琶湖疏水との覚書締結の提案があり、令和8年9月3日に、台南運河と琵琶湖疏水との交流促進及び協力に関する覚書を締結しましたので、御報告いたします。

1 覚書の名称

台南運河と琵琶湖疏水との交流促進及び協力に関する覚書

2 覚書締結日・場所

(1) 締結日

令和8年9月3日（木）

(2) 締結場所

台南市政府

3 署名者

京都市 京都市公営企業管理者上下水道局長 吉川雅則

台南市 台南市観光旅遊局長 林國華

〔	立会者	京都市会議長	下村あきら
		京都市会議員	台南市栄誉市民 寺田一博
		台南市長	黄偉哲
〕			

4 覚書の主な内容

(1) 目的

琵琶湖疏水と台南運河が、運河の維持管理、文化遺産の保存・活用、運河を活用した観光振興などの分野における深い協力を通じて、琵琶湖疏水と台南運河のブランドの向上、歴史的価値の発信及び運河の持続可能な発展に取り組むことを目的とする。

(2) 主な取組項目

- ア 運河の維持管理及び持続的な発展に向けた情報交換
- イ 文化遺産の保存及び活用についての情報交換・発信
- ウ 舟運の運営及び運河の活用についての情報交換
- エ ブランドの向上及び広報活動についての協力・連携

(3) 有効期間など

署名の日（令和8年9月3日）から5年間（期間満了までに両市どちらからも申出がない場合は、5年間自動更新。）

なお、この覚書は、両市の協力の意思を表明することを目的とし、法的拘束力のある義務を生じさせない。

【参考】台南運河について

台南運河は、日本人土木技師の松本虎太が設計・監督を担当し、大正15年（1926年）に建設された、台湾最長の運河である。台南市の安平港と市街地を結び、延長は約3.8km（建設当時）、水面幅は37m。

建設当初は、水上運輸の要衝として、台南市の経済的發展を支え、現在は、魅力あるウォーターフロント（波止場地区）として親しまれており、台南運河を巡る観光船（台南運河クルーズ）が運航している。

① 台南運河の位置



② 台南運河の様子



台南運河のナイトクルーズ（台南市提供）



午前中の台南運河（上下水道局撮影）